

# 次期医療情報システム基本 요구書

令和5年6月1日

社会福祉法人<sup>恩賜</sup>財団済生会支部

埼玉県済生会鴻巣病院

## 1. 主な用語の定義

- ① 「当院」とは、埼玉県済生会鴻巣病院をいう。
- ② 「次期医療情報システム」とは、導入の対象となる電子カルテシステム及び医事会計システムをいう。
- ③ 「現行医療情報システム」とは、当院で現在稼働している電子カルテシステム及び医事会計システムをいう。
- ④ 「部門システム」とは、既存の部門システム（薬剤科、栄養科、検査科、放射線科等）をいう。
- ⑤ 「サテライトクリニック」とは、埼玉県済生会なでしこメンタルクリニックをいう。
- ⑥ 「老健」とは、鴻巣介護老人保健施設こうのとりをいう。

## 2. 次期医療情報システム導入検討の経緯

現行医療情報システムは平成28年10月に導入され、平成30年6月には当院のサテライトクリニックでも稼働を開始した。これまでいくつかの課題はあったが、都度システム改善や運用等で乗り切ってきた。しかしながら、既設システムのハードウェア保守の終了、医療改正への対応困難を解消すべく、これを機会に次期医療情報システムの導入を検討する。

## 3. 次期医療情報システムの導入方針

### (1) システムの基本方針

- 1) 電子カルテ三原則遵守への対応  
次期医療情報システム導入により、真正性、見読性、保存性を保証するシステムとする。
- 2) 業務効率化  
診療上の指示は医師が入力し、実施入力は医師・看護師・技師の実施者が行い、データの確認・照会とは各担当者が行う。各職能の明確化、業務分担の見直しを含め、効率的かつ質の高い情報を共有できる仕組みを提供する。
- 3) 情報連携強化  
各部署におけるシステム間のデータ連携が効率的かつスムーズに行えるものとする。診療情報の共有を促進し、カルテ・オーダ・看護情報が必要時に迅速に参照できるものとする。
- 4) データ活用  
現行医療情報システムに蓄えられた患者基本情報、入退院履歴等の診療のために必要な情報は、非常に重要かつ有益な情報であると捉え、次期医療情報システムに可能な限り移行するものとする。
- 5) 機密保護  
患者等の個人情報を実際に保護するための機能を備えなければならない。患者情報保護及び利用者の特定のため、ユーザ i d、パスワード等による利用制限を厳密に行う。

### (2) 次期医療情報システムの導入方針

- 1) 次期医療情報システムは令和6年2月1日より稼働とする。
- 2) 各部門からの要望、現行医療情報システムの課題を解決するとともに、運用の整理を行い、効率的な業務フローを確立する。
- 3) 部門システムとの連携を行い、伝票記載と書類搬送、二重入力の削減を図り、業務の効率化を目指す。

## 4. システム要件

### (1) 基本要件

- 1) 対象業務について実用に耐えること。
- 2) ユーザ i d とパスワードによって、利用者の認証ができ、職種別及び利用者個別に業務選択の設定及びアクセス権限の設定ができること。
- 3) 運用に必要な各種ドキュメント（仕様書、操作手順書等）が用意されていること。
- 4) システム障害や設定の誤りに対し、迅速に対応すること。
- 5) 一般的な環境の変化（医療制度の変更、診療報酬制度の変更等）に対応すること。
- 6) 操作画面が平易であり、入力応答が迅速であること。
- 7) 次期医療情報システムの端末には医療辞書をインストールし、医学用語の変換が容易であること。

- 8) 導入するサーバ・端末にはウイルス対策ソフトをインストールし、また、定期的にパターンファイルを更新できる環境を構築すること。現行システムの運用と今後のカルテ参照の必要性から導入する電子カルテシステムはWEBベースのシステムで構築すること。
- 9) Microsoft社のOfficeは、当院が所有するディスクを用いてインストールすること。また、提案するシステム構成に必要なMicrosoft社製品は、製品名・数量等を記載すること。
- 10) 構築するシステムへのランサムウェア等のサイバー攻撃対策を実施すること。バックアップの二重化、クラウド上への退避等、対策を講じ提案を行うこと。
- 11) 電子カルテシステムは、当院に加えてサテライトクリニックでも稼働すること。さらに一部機能が老健でも使用できること。

(2) ハードウェアの要件

- 1) サーバはシステムの動作、性能を保証でき、十分な耐久性があること。
- 2) サーバは災害やシステム障害に備えた構成であること。
- 3) 提案するシステムはオンプレミスまたはクラウドの導入形態は問わない。
- 4) クラウド提案を行う場合、動作保証を行うこと。
- 5) クラウド提案を行う場合、データセンターは所在が国内、かつティア3以上のセキュリティ要件を満たすこと。
- 6) クラウド提案を行う場合、既存の部門システムサーバはオンプレミスまたはクラウドの形態を問わないが、動作やシステム間連携に遅延等の支障が生じないように考慮して提案すること。
- 7) クライアントPC以外のハードウェアは、5年間修理対応保証すること。
- 8) プリンタについては、メーカーによる無償出張修理保証、無償部品保証を付帯すること。それ以外の機器の保守は、導入後の一定期間を無償保証期間とし、終了後の保守は別途契約とすること。
- 9) クライアントPCは、対象業務について実用に耐える十分な性能と耐久性があること。
- 10) 既存クライアントPCのうち、前述10)の要件を満たしているものは継続して使用することとし、それ以外のものを入れ替える対象にすること。

(3) 電子カルテシステムの要件

- 1) カルテ入力ができること。
- 2) 多様な検索機能が備わっていること。
- 3) テンプレート、描画・画像作成機能等の入力支援ツールが備わっていること。
- 4) 予め登録した定型文の利用など、カルテ記載をサポートする機能がそなわっていること。
- 5) Excel、Wordなどで作成した文書を登録・管理する機能が備わっていること。
- 6) 必要なデータの抽出、統計、帳票を出力できること。
- 7) 予約機能が備わっていること。
- 8) アクセス権限の管理・チェック機能が備わっていること。

(4) 医事会計システムの要件

- 1) 電子カルテシステムと連携すること。
- 2) 医療事務に係る多様な情報の登録、管理、チェック及び算定の機能が備わっていること。
- 3) 必要なデータの抽出、統計、帳票を出力できること。
- 4) 財務会計システムに必要なデータを連携ができること。
- 5) 当院が指定する小遣金管理システムと連携すること。

(5) 部門システム接続の要件

- 1) 電子カルテシステム接続対象
  - ・調剤システム（トーション/：既存）
  - ・服薬指導システム（タカゾノ/Forestchart、Preforum i：既存）
  - ・検査システム（日立製作所/LAVOLUTE 8：既存）
  - ・画像管理システム（ドクターネット/ドクターPACS：既存）
  - ・栄養指導システム（京セラシステムインテグレーション/Medic Diet：既存）
  - ・看護勤務管理システム（エスエフシー新潟/看護職員勤務予定表：既存）
  - ・再来受付機システム（日本ラッド：既存）
  - ・診察案内システム（日本ラッド：既存）
  - ・会計案内システム（日本ラッド：既存）
- 2) 医事会計システム接続対象
  - ・電子カルテシステム（今回提案）

- ・診察券発券機（日本データカード：既存）
- ・POSレジ（日本ラッド：既存）
- ・自動精算システム（日本ラッド：既存）
- ・小遣金管理システム（メディウムジャパン：新規、当院指定）
- ・オンライン資格確認システム（既存、病院とクリニックの2施設分）

(6) その他要件

- 1) 同時に下記を更新すること。
- ・再来受付機システム（クリニックは新規設置）
  - ・診療案内表示システム
  - ・POSレジ
  - ・自動精算機
  - ・会計案内システム
  - ・診察券発券機（クリニックは新規設置）

5. データ移行

(1) データ移行の提案

電子カルテシステムのデータ移行を行うこと。平成28年10月から稼働分の患者情報、カルテ記事記載情報、指示情報、検査結果情報、入退院履歴、病歴を全て移行すること。

移行が不可または困難と想定される場合は、仕様書回答に明記し、運用等で補完できる提案があれば併せて記載すること。また、既存システムからのデータ移行は、現行ベンダー側で発生する対応作業費用積算書を入手し、見積りに明記すること。

(2) データ移行対象システム

- ・電子カルテシステム : Live (ライブワークス)
- ・医事会計システム : Mega Oak IBARS II (NEC)

(3) データ移行項目

1) 電子カルテシステム

- ・利用者情報
- ・患者基本情報（患者、保険、受診科歴、入退院歴、相談記録）
- ・プロフィール情報（身長、体重、血液型、感染項目、禁忌項目）
- ・患者病名情報
- ・診療予約情報
- ・診療情報（カルテ記事記載内容）
- ・処方オーダー情報
- ・注射オーダー情報
- ・食事オーダー情報
- ・処置汎用オーダー情報
- ・検査オーダー情報
- ・検査結果情報
- ・看護記録情報
- ・入退院・移動情報（過去歴）
- ・各種文書雛形及び作成された文書
- ・セット登録情報（利用者セット、科別セット、院内セット）
- ・各種マスタ（病名、薬剤、病棟、病室等）

2) 医事会計システム

- ・患者基本情報（患者、保険、受診科歴、入退院歴）
- ・入退院・移動情報
- ・患者病名情報
- ・診療予約情報
- ・会計カード情報
- ・収納情報
- ・算定情報
- ・レセプト情報
- ・各種マスタ（点数、診療科、病棟、病室等）

(4) 患者id

現行の患者idは、原則そのまま利用することを想定する。

## 6. ネットワーク

### (1) ネットワークに関する要件

- 1) 既存のネットワーク（有線LAN、無線LAN）を最大限に利用すること。
- 2) 新たなLAN増設が必要な場合は提案書にその旨を明記すること。
- 3) LAN敷設工事は当院の通信ネットワーク保守業者に依頼するため、その費用は見積に含まないこと。

## 7. 保守

### (1) 保守に関する要件

- 1) 365日24時間対応の受付窓口を持つこと。
- 2) 保守サポート体制及び要員数を明記すること。
- 3) サポートする技術者は医療機関（特に精神科病院）業務に精通した要員を担当させること。担当者のスキルを明示すること。
- 4) リモートメンテナンスを行う場合、これに必要な機器類等を導入範囲に含めること。また、セキュリティ確保の方法を明記すること。
- 5) サーバ、プリンタ等の大型の機器はオンサイト保守とすること。
- 6) サーバ保守は障害発生時の対応だけではなく、定期点検を含むこと。障害発生時は速やかに対応できる体制であること。
- 7) 提案するシステムに関してハードウェア及びソフトウェアの納入が可能で、責任を持って保守できる体制を整えること。また、稼働後においても、法令改正等によりプログラムの改修が必要な場合、対応可能な体制とすること。
- 8) 医療費改定に伴うプログラム変更、薬価・点数マスタを提供すること。
- 9) 職員向けのシステム操作手順書を用意し、バージョンアップ等で変更がある場合は都度更新すること。また、職員向けのシステム教育体制を明記すること。
- 10) 発生した問い合わせや障害に対する対応と進捗状況、バージョンアップや改正で生じる変更点等を報告する場として、定例会を毎月1回実施すること。

## 8. 提案（見積）の範囲

### (1) 次期医療情報システム

- 1) ハードウェア
  - ・サーバ（周辺機器を含む）
  - ・クライアントPC（入れ替え対象台数分、マウス等の付属品を含む）
  - ・プリンタ（増設トレイ等の付属品を含む）
  - ・ラベルプリンタ（付属品を含む）
  - ・スキャナ（付属品を含む）
  - ・導入・設置費用（電源、LANの増設費用は含まない）
  - ・保守費用
- 2) ソフトウェア
  - ・システム構築に必要なソフトウェア（ライセンス）
  - ・オプション、カスタマイズ等にかかる費用
  - ・導入費用
  - ・保守費用
- 3) データ移行
  - ・現行医療情報システムからのデータ移行
  - ・移行費用（現ベンダー側の費用も明記すること）

### (2) 部門システムとの接続

- ・接続の方法
- ・接続に必要なハードウェア及びソフトウェア
- ・接続費用（相手側の接続費用も明記すること）

### (3) 自動再来受付システム、診療案内システム、会計案内システム、POSレジ、自動精算システム、診察券発券機

- 1) ハードウェア
  - ・本体及びその設置場所
  - ・稼動に必要な機器類（管理端末等）

- ・ 導入・設置費用（電源、LANの増設費用は含まない）
  - ・ 保守費用
- 2) ソフトウェア
- ・ 稼動に必要なソフトウェア（ライセンス）
  - ・ 導入費用
  - ・ 次期医療情報システムとの接続費用

「次期医療情報システム要件仕様書」の要求仕様項目に対して、オプションまたはカスタマイズもしくは代替機能によって対応可能な場合も含めてすべて見積対象とすること。対応不可の項目がある場合は、別途明記すること。

## 9. その他

- (1) 概算見積提出  
令和5年6月28日（水）10時迄
- (2) 入札・プレゼンテーション  
令和5年6月30日（金）
- (3) 次期医療情報システム本稼働開始日  
令和6年2月1日（木）

以上